

Business

令和4年度

主要事業

照 会 財政課 ☎0537-81112

①「地域を元気に」特性を生かしたまちづくり

感染症を契機とした地方への関心の高まりを後押しするように、豊富な地域資源を生かした地域を創り、交流人口を増加させることで、活力あふれるまちづくりを目指します。

◆ 新しい雇用の創出や地域の活性化

- ・市内に新規進出を考える企業に対してインセンティブを付与することで企業誘致を促進します。
- ・御前崎ブランド認定品の新規認定と普及活動を推進します。また、事業者自らが積極的に販売促進や付加価値を生み出すことができるよう支援し、御前崎ブランド認定品を地域に定着させます。

◆ 交流人口の再生

- ・東京に進学した若者との交流の場を設け、御前崎市の新しい魅力の発見や創生のヒントを得ることで若者がUターンしやすい地域づくりを実現します。
- ・コロナ禍で滞っている人の流れを呼び込むために、観光促進キャンペーンを実施します。民間事業者から観光プロデューサーを受け入れ、ノウハウを生かした誘客促進や観光人材育成などを実行し、魅力ある観光地を創出します。
- ・「転職なき移住」や「新しい働き方」の実現を目指し、ワーケーションの受け入れ支援やコワーキングスペースの運営をすることで、首都圏からの人流を創出します。

②「市民を守る」複雑・多様化する災害への備え

切迫化する大規模地震災害や相次ぐ気象災害から市民の命と暮らしを守るため、インフラ施設や避難地などを改修します。

◆ 災害に強いインフラの整備

- ・大規模災害発生の予防や災害拡大の防止を目的に、道路などのインフラ施設を改良します。
- ・大規模災害時に市民の命を守るため、一次避難地の改修を支援します。

◆ 緊急体制の維持・強化

- ・緊急時に人員輸送や資機材搬送ができる支援車、消防団設備を更新して災害に備えます。
- ・災害に強い体制を維持するため、消防団員の出勤に伴う報酬を拡充し、新規消防団員の確保につなげます。

③「人がつながり、育つ」自ら学ぶ子どもたち・高め合う市民への支援

ICT機器や図書館資料を活用し、探究的・協働的な学びに取り組む子ども、仲間とともに実体験活動を楽しむ子どもを支援します。

さまざまな年代の市民が文化的な学びや地域づくり、各スポーツに積極的に参加し、生きがいや潤いを持てる場を提供します。

◆ 学びの充実

- ・ICT端末の追加整備やAI教材を導入するとともに、ICT支援員の派遣を継続し、児童・生徒一人一人に最適な学びを保証し、創造性を育む教育を推進します。
- ・小・中学生、親子、高校生以上を対象として地域資源を生かした体験活動を実施しています。「御前崎クエスト」は、新たに小学生低学年のプログラムを追加します。これにより、子どもから大人までの一貫した学びの提供を強化します。